

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	就労支援センターハーテス V
住 所	兵庫県尼崎市昭和南通 4 丁目 27-1 武田大和ビル 502
電話番号	06-6418-9332

事業所番号	2813007438
管理者名	須藤明美
対象年度	2025（令和 7）年度

（Ⅰ）労働時間

①1日の平均労働時間が7時間以上		40	点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満			
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満			
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満			
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満			
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満			
⑧1日の平均労働時間が2時間未満			
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点			

（Ⅱ）生産活動

①過去３年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	60
②過去３年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去３年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去３年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去３年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去３年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
		点
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤－10点 ⑥－20点		

（Ⅲ）多様な働き方（※）

①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度		15	点
就業規則等で定めている	○		
②利用者を職員として登用する制度			
就業規則等で定めている	○		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律			
就業規則等で定めている	○		
④フレックスタイム制に係る労働条件			
就業規則等で定めている	○		
⑤短時間勤務に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
⑥時差出勤制度に係る労働条件			
就業規則等で定めている	○		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度			
就業規則等で定めている			
⑧傷病休暇等の取得に関する事項			
就業規則等で定めている	○		
小計（注 1）	6		

（※） 8 項目の合計点に応じた点数

（注 1） 5 以上：15 点、4～3：5 点、2 点以下：0 点

（Ⅳ）支援力向上（※）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15	点
参加した職員が 1 人以上参加している	○		
②研修、学会等又は学会誌等において発表			
1 回以上の場合	○		
③視察・実習の実施又は受け入れ			
いずれか一方のみの取組を行っている	○		
④販路拡大の商談会等への参加			
1 回以上の場合	○		
⑤職員の人事評価制度			
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している			
⑥ピアサポーターの配置			
ピアサポーターを職員として配置している	○		
⑦第三者評価			
過去 3 年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。			
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等			
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている			
小計（注 2）	5		

（※） 8 項目の合計点に応じた点数

（注 2） 5 以上：15 点、4～3：5 点、2 点以下：0 点

（Ⅴ）地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10	点
--	---	----	---

1 事例以上ある場合：10 点

（Ⅵ）経営改善計画

経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0	点
---	---	---	---

期限内に提出していない場合：-50 点

（Ⅶ）利用者の知識・能力向上

前年度において、就労継続支援 A 型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10	点
--	---	----	---

1 事例以上ある場合：10 点

項目	点数							
労働時間	5 点	20 点	30 点	40 点	55 点	65 点	80 点	90 点
生産活動	-20 点	-10 点	20 点	40 点	50 点	60 点		
多様な働き方	0 点	5 点	15 点					
支援力向上	0 点	5 点	15 点					
地域連携活動	0 点	10 点						
経営改善計画	-50 点	0 点						
利用者の知識・能力向上	0 点	10 点						

合計	150	点	／ 200 点
----	-----	---	---------

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

（Ⅰ）労働時間

前年度（2025（令和7）年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	20284.75	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	4,893	人	利用者の1日の平均労働時間数	4.14	時間
-----------------------------	----------	----	-------------------	-------	---	----------------	------	----

（Ⅱ）生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（2023（令和5）年度）

生産活動収入から経費を除いた額	28,989,025	円	利用者に支払った賃金総額	26,911,654	円	収支	2,077,371	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前々年度（2024（令和6）年度）

生産活動収入から経費を除いた額	28,570,779	円	利用者に支払った賃金総額	24,375,266	円	収支	4,195,513	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前年度（2025（令和7）年度）

生産活動収入から経費を除いた額	29,457,370	円	利用者に支払った賃金総額	23,973,285	円	収支	5,484,085	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

（Ⅲ）多様な働き方

前年度（令和7年度）における取組（全体表「（Ⅲ）多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている	☒
------------------------------	-------------------------------------

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている	☒
------------------------	-------------------------------------

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	☒
-------------------------	-------------------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている	☐
---------------------	--------------------------

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている	☐
----------------------	--------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	☐
-------------------------------	--------------------------

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	☒
-----------------------	-------------------------------------

（Ⅳ）支援力向上

前年度（令和7年度）における取組（全体表「（Ⅳ）支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	☒
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	☒
※研修名	ピア・サポート実践研修
研修講師	升間晶子 講師
実施日・受講者数	8月23日 20人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	☒
※研修、学会等名	障がい者ピアサポート研修
実施日	11月29日
※学会誌等名	
掲載日	月 日
発表テーマ	

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している	☒
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	☒
※先進的事業者名	就労支援A型ワークワーク
実施日/参加者数	12月5日 1人
※他の事業所名	てんとうか
実施日/参加者数	12月18日 1人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している	☒
※商談会等名	sakura交流会
主催者名	NPO団体 相互支援団体ソダテラス
日時	9月5日
内容	ホームページ作成の仕事について

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	☐
◎当該人事評価制度を周知している	☐
人事評価制度の制定日	年 月 日
人事評価制度の対象職員数	名
うち昇給・昇格を行った者	名
当該人事評価制度の周知方法	

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	☒
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポート研修」を受講している	☒
※配置期間	4月1日～3月31日
就業時間	9時～17時
職務内容	職業指導員

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	☐
※評価を受けた日	月 日
第三者評価機関	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証を受けている	☐
※認証を受けた日	月 日
規格等の内容	

（Ⅵ）経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。	☐
※受理日	令和 年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ライフワーク株式会社 就労支援センター ハーテスV
住 所	兵庫県尼崎市昭和南通4丁目27-1 武田大和ビル502号室
電話番号	06-6418-9332

事業所番号	2813005226
管理者名	須藤 明美
対象年度	令和7年度

地域連携活動の概要

<活動内容> 活動場所 明雪ロジスティクス株式会社 実施日程 2025.5.26 実施した生産活動・施設外就労の概要・利用者数 等 毎週月曜日から金曜日に、13時～17時にピッキング業務とクレート洗浄を行った。 参加した利用者は3名	<活動の様子>  
<目的> 物流業務の役割は、地域に暮らす方はもちろん、お客様のお手元に安心してお届け出来ていると認識しています。 今回、就労支援センターハーテスと提携し、障害を持った方々を受け入れていることで、地域における障がい福祉の発展に貢献する。	
<成果> 実施した結果・得られた成果 一般就労に向けての体力と精神力を身に付けられていると思います。 課題点 一般の方々と同等の数量を目指せるよう努力と意識が必要です。	

連携先の企業等の意見または評価

実際に作業している様子を見ると、障がいを持っていることを感じさせない熱心な働きぶりの方や知的障害を抱えている方も同等に作業に取り組みされていて、作業の成果を見ても、高く評価できると感じています。

連携先企業名	明雪ロジスティクス株式会社	担当者名	臼井 宗一郎
--------	---------------	------	--------

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	ライフワーク株式会社 就労支援センターハーテス V	事業所番号	2813007438
住 所	兵庫県尼崎市昭和南通4丁目27-1 武田大和ビル502	管理者名	須藤明美
電話番号	06-6418-9332	対象年度	2025（令和7）年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容>

活動場所 兵庫県尼崎市昭和南通4丁目27-1
武田大和ビル502

実施日程 2025年 8月23日（土）9:00～13:00

実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要
ピアサポート研修

利用者数 等 20名

<目的>

一般就労に向けて、コミュニケーション力を付け、自分の強みを知ることでレジリエンスを高める研修を実施し「協働力」「自己回復力」を強化育成する。

<成果>

ピアサポートを理解した 85%

ピアサポーターになりたい 55%

誰かを支えるという気持ちが育ちつつある。
コミュニケーションスキルを意識するようになった。

<活動の様子>



以下のことをグループワークを通して体験的に学んだ。

- 1 相手の話を聞くためには自分の態度が重要であること。
- 2 相手の気持ちを考えながら聞くことが大切であること。
- 3 自分の「強み」を知ることでかけがえのない自分に気づくこと

連携先の企業や事業所等の意見または評価

みなさん楽しく積極的に取り組みられました。今回は、時間制限がある中でコップを積み上げるワークや感情を表情だけで伝えていくワークなどゲーム感覚で取り組む中にも仕事にも直結するワークを用意しました。参加者のみなさんはピアサポートを理解した様子がみられ、研修の成果があったと思われます。

連携先企業（担当者） NPO法人 Peer Do （加部真里子・升間晶子）

利用者からの意見・評価

- ・ピアサポート入門講座を聞いて楽しい気持ちになりました。
- ・人との交流ができたのが良かったです。前回は今回も参加できたので次回もお願いします。
- ・いろいろお話が聞けてとても楽しかったです。またこんな機会があれば聞いてみたいです
- ・今日ピアサポートの講座を受けて、今までマイナス思考の自分が少しでもプラス思考になるよう頑張りたいと思いました。